

心と体を 活性化する 未来の音楽 ハイパーソニック・サウンド

自然が豊富な環境には、20kHz ~ 100kHz の高い周波数の音が含まれています。
この音は耳では聞こえませんが皮膚の表面から脳に伝わり、心と体を活性化します。

ハイパーソニック・サウンドとは？



《耳から聞く》音楽や環境音
+
《皮膚から脳に伝わる》
45k ~ 100kHz の高周波音
=ハイパーソニック

この2つの成分を持つ音楽が
ハイパーソニック・サウンドです。

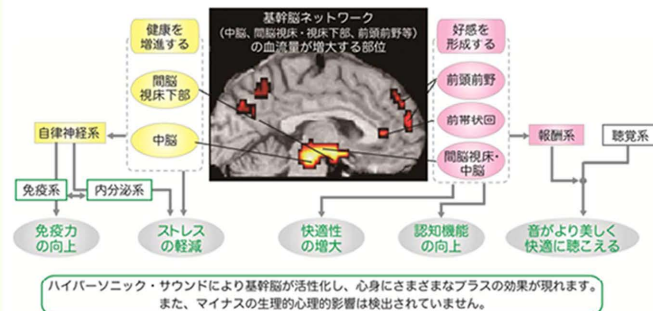
心と体を整え活性化する
ハイパーソニック効果
が、あらわれます。

環境省のホームページより
(国立国会図書館アーカイブ)



<https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/14030989/www.env.go.jp/nature/nats/sound/index.html>

- ・ハイパーソニック・サウンドとは、人間の耳に聞こえる周波数の上限を超えて複雑に変化する超高周波を含む音。
- ・私たちの脳機能を高め、ハイパーソニック・エフェクトと呼ばれるポジティブな効果（健康増進、やすらぎ、好感形成）を心身にもたらします。
- ・聞こえる心地よい音と一緒に、聞こえない超高周波を体の表面から受けることにより基幹脳の血流が増加して、ハイパーソニック・エフェクトが得られます。



(特集：ハイパーソニック・エフェクト、科学、83 巻 3 号、2013 年から一部改変)

ハイパーソニック効果 (ハイパーソニック・エフェクト)

音楽としての効果：

- ・良い音で感動的に聞こえる（幸せホルモンのドーパミンが分泌される。）

健康への影響：

- ・リラクゼーション推進（アルファ波を誘起する。）
- ・ストレスを和らげる（自律神経をととのえ、内分泌系を安定化させる。）
- ・免疫を活性化して病気の発症を抑える（病気や癌などの発症を抑える。）
- ・鬱の改善・認知機能向上（オルゴール療法などで実績。）

古典楽器の音楽=ハイパーソニックが豊富



チェンバロ オルゴール 尺八 琵琶 ガムラン

ポピュラーな音楽=ハイパーソニックが少ない



ピアノ バンド オーケストラ

ポピュラーなジャンルでも
ハイパーソニック・サウンド
を創ることが可能になりました。
ハイパーソニック・サウンドは。
これからどんどん増えていきます。



ピアノ バンド オーケストラ

詳しくは、下記の“詳しい情報”をアクセスしてください。

「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジ「ハイパーソニック楽器開発」

詳しい情報：<https://gsljp.com/gs/expo-hse/>



今まで
↓
これから